



PDA 奈良県立奈良高校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2020年8月5日（水）13:00-15:30

会場：奈良県立奈良高等学校

参加者：生徒39名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、名古屋工業大学

助成：駐大阪・神戸アメリカ総領事館、公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

今回は、「科学英語講座」ということで、7日に控えたシンガポールとのオンライン交流の事前練習も兼ねての体験会となりました。まず、中野校長先生より、英語での即興型ディベートは今後の活動に活かすことができるものです。頑張ってください。と挨拶が行われ、早速第1ラウンドが始まりました。



校長 中野先生よりご挨拶



準備時間に作戦を練っています

ディベートが始まると、しっかり相手の話を聞き、自分の主張を伝えることができました。ディベートが終わるとエアー握手がかわされました。ジャッジ実践を行った生徒も反論や再構築を吟味し、勝敗の理由を説明することができました。



堂々とスピーチをしています



お互いの健闘を称えてエアー握手

続く第2ラウンドでは第1ラウンドで受けた各テーブルジャッジからのアドバイスを参考に、理由づけや具体例などを意識しながら準備を行いました。ディベートが始まると、第1ラウンドから成長したスピーチを披露しました。ラウンドが終わるとジャッジの先生からのコメントを真剣に聞く姿が見られました。



iPadの向こうのジャッジに向かってスピーチ



ジャッジの目を見てスピーチ

ジャッジからのフィードバック

最後に第2ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒より「1回目は手探りでのディベートだったが、2回目ではどのように進めればいいのかなどがわかり、より楽しめた」、「英語は苦手だが、苦手だからこそやる意味がある」と感想を述べ、奈良高校でのディベート体験会の幕が閉じました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分の言いたいことを英語に直して発表するのは難しかったけど、またやりたいと思った。
- ・日本語でもすぐに意見をまとめるのが難しいものを英語でするといのはやはり難しいけれど、実際の英会話は相手の話を聞いたうえで応答なので、必要な力だなと実感させられました。
- ・普段英語を話す機会はあまりなく、英語力の向上に効果的だと身をもって感じました。短い時間ですが、脳をフル回転させて考えるのは楽しかったです。
- ・頑張っってリスニングをするが、聴き取れないワードがあると、焦って簡単な文も聴き取れなくなりました。この経験を活かして、少し聞き取れなくても焦らずに他の文から聞き取れなかったところを推測する力を身に付けようと思った。これは受験にも役立つことであり、貴重な経験が出来たと思う。
- ・普段ではできない、英語でのディベートをできて、いい経験になった。自分が主張したいことを英語で即興に話す経験は今後にも生きていくと思うので、ディベートに参加出来てよかった。
- ・僕は、苦手教科が英語であり積極的に英語学習に取り組んでこなかったけど、初めて英語が楽しいと思えた。素晴らしい経験の場を提供していただきありがとうございます。
- ・1回だけでは変わらないとか意味ないとか下手だからとか思っってあまり乗り気ではありませんでした。考えていた通り、聞く、話す、考えるの同時作業が難しかったですが、担当してくださった先生がこんなふうに分らいいよって詳しく言ってくれて不安な気持ちも薄れて、みんなでがんばろう！と楽しい気持ちが大きくなりました。
- ・また、やりたいと思えるほど楽しかったです。
- ・人前で話すのは緊張しました。しかし、限られた時間の中で意見を考えるのはやりがいを感じました。また、良い意見を持っていても、順序立てて話さなければ説得力に欠けると思いました。構成を考へて話すことの大切さを実感しました。
- ・英語で反論したり自分の意見を言うことはすごく難しかったですが、英語をもっと話せるようになりたいなと思っましたし、すごく楽しかったです。
- ・今日初めて即興型英語ディベートを経験し、緊張して言いたいことが抜けてしまっって間が持たなかつたこともありましたが、自分が持てる英語力や構文力を駆使して相手に考えを伝えることの楽しさを学べました。
- ・時間的に非常に厳しかったが、これを続ければ英語力がかなり伸びそうだと思っった。